

昭和58年9月15日(1983)

No. 218

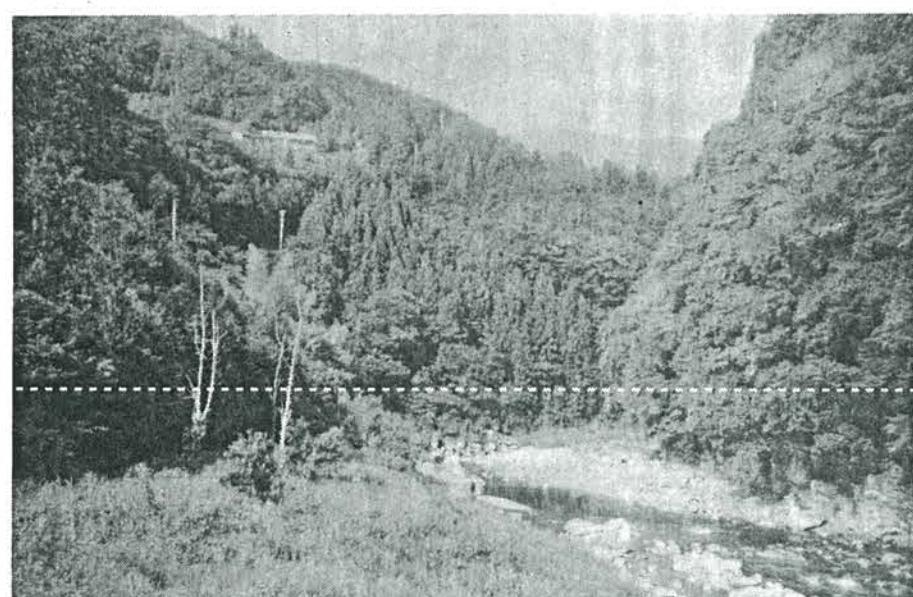
大豊町の概要	
位置	東経133度37分 北緯33度56分
面積	320.54平方キロ 東西 32キロ
南北	28キロ 部落数 86
人口	9,450 男 4,510 女 4,940
世帯数	3,399 8月末現在住民基本台帳調査

大豊館報

昭和58年9月15日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会
発行 大豊町中央公民館
印刷 高知印刷株式会社



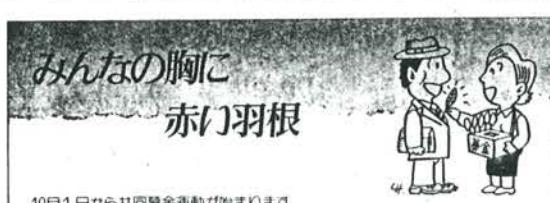
四国横断自動車道 ◇川之江—大豊区間◇ 早期着工を……

建設促進期成会開く

大豊町・新宮村・川之江市の三市町村で結成された四国横断自動車道建設促進期成会では、去る三月に第一回定期総会が開催され、出席者は約四十人。この会議では、建設促進のための活動方針が討議され、また、高速自動車道建設の現況について四国地建の方から説明があり、同会は、五十七年度、収支予算、同事業計画案などを承認して終了した。三時すぎから現在工事中の大豊・南国間の、大豊地区明神トンネル北口から掘削現場を視察した。とも



立川御殿で開かれた四国横断自動車道促進期成会総会で挨拶する渡辺町長



あれ高知県にとって、大豊・川之江間の開通こそが、経済発展の活路であり、早期着工にむけて一段と努力することが確認された。

大豊町の老人人口は次のとおりです。(S58年4月1日現在) 65歳以上の人口、二、一六四、全人口に対する割合二二・七六%県全体では一三・四%推計。



蜂蜜をお土産に一人暮らしの方を訪問

「小水力発電所」 県及び通産省の調査受け入れ 栗生地区から——八川地区へ

地下導水路

又、我が国の長期的視野に立った、総合エネルギー政策に基づき石油代替エネルギーの開発としてクリップアップされている小水力発電について、高知県に

建設コストから大豊町栗生下

の南小川が有望視されている。栗生地区部、町小水力発電開発促進委員会のメンバーら約二十人が出席し、県企業局の藤村局長から、構想の概要説明がなされたとともに、ボーリングや、環境調査実施

『大豊町小水力発電開発促進委員会』発足

七月八日に第一回委員会

建設が予定されている栗生の取水予定地附近

通産省早くも調査開始

関係地区民のご協力を願います。

同小水力発電開発について、通産省ではすでに調査が実施されています。関係地区の方々には、ご迷惑をおかけいたしますが、大豊町の産業発展にも大きくつながる一大事業であります。ぜひともご協力下さい。

同小水力発電開発について、通産省ではすでに調査が実施されています。関係地区の方々には、ご迷惑をおかけいたしますが、大豊町の産業発展にも大きくつながる一大事業であります。ぜひともご協力下さい。

9月15日は『敬老の日』

お年寄りを大切に

9月15日～21
老人福祉週間

お年寄りのことを考えてみよう
社協の理事さん
ひとり暮らしのお年寄りを訪問

大豊町社会福祉協議会では、社会的に孤立しがちなひとり暮らしの老人を、常々おへんとう持参でお迎えし、大変喜ばれました。敬老の日を迎えるにあたり、みんなで今一度、おともに、地域社会における近隣間、世代間の交流を深め、お年寄りの幸せを高めようと毎年、各地区の、ひとり暮らしの老人を訪ねています。今年も、老人福祉週間

社協全戸加入の寄附金
ありがとうございました。
57年度実績六十一万五千余円
暖かい財はお年寄りのため
にも役立っています

大豊町の老人人口は次のとおりです。(S58年4月1日現在) 65歳以上の人口、二、一六四、全人口に対する割合二二・七六%県全体では一三・四%推計。



幼児教育について

保育所における集団教育について
保育所長 森 下 良 尾

一、教育内容

家庭における教育は人間の個人の面の教育であり、保育所で保母の教える教育はおおむね人間の社会にひらく方面的教育です。

わかりやすいえば社会の中で生き方をおしえるところです。

共同生活をする「人間」を正確な言葉で言あらわしたものに、ギー

ルケの「人の人たるゆえん

は人と人との結合にある」

があります。理想の人間形成は家庭と社会の両方でおこなわれるべきであり、こ

の二つは車の両輪のよう

相いおきなつていくべきも

のです。どんな立派な家庭でも集団教育についてはう

まくやれないからです。それと、お母さんが子どもと

密着しそうなからです。自分の子どもを距離をおいて見ることが出来ません。そのためある時間お母

さんと子供を離れる。そ

のため三才位になつたら集

団保育にあづけたほうがいい

のです。又、集団保育に

は集団保育でないと教えら

れないものがあり、それが

子供の成長に必要だからです。

保育所では家庭で教えよ

うとしても教えていく基礎

習慣を教えたり、社会的ル

ールを教えたり、いろんな

能力を開発するようなこと

をしているわけです。集団

のルールをどうしても守ら

なければならぬような氣

持に子ども達がなつていく

のです。

保育所保育指針を少し説

明しますと、子供の活動を

いくつかの領域に分けて保

育内容を考えることであります。

かうが、保育者のいうこ

とをきくというのでなく、

幼児の「生活と遊び」の

姿においていろいろなねら

いが実現されるように指導

されねばなりません。集団

生活の中で生きる生き方を

おしえながら心身を鍛錬す

るのです。

教育は知らないものに知

識を与える。弱い心を強く

してあります。からだについても

かうが、見事に最優秀賞に選ば

云う内容のものでした。

野菜園芸品の集出荷始まる

大豊町農協園芸部において

東・関西・中国地区、九州

方面への計画分散出荷など

により、価額も安定するも

のと存じます。又農協とし

ましても行政機関の御指道

通り、各方面的野菜市場に

御協力を賜りまして、トマ

ト選果機一台も増設しまし

てより厳密な選果より、

天に恵まれて各品目とも成

育良好で增收量となり、最

盛期に向って関係者一同頑

張っています。

価額も共選と市場への出

荷調整により、昨年並かそ

れ以上の価額で取引されて

いますし、本格的出荷期に

は県内市場を中心とした関

係

事は、よろこびしく存じま

す。

山間農業をとりまく処情勢

申すまでもなく現在の中

はきびしく、中でも社会経

済の停滞により土木事業や

森林事業がいちじるしくど

きませ

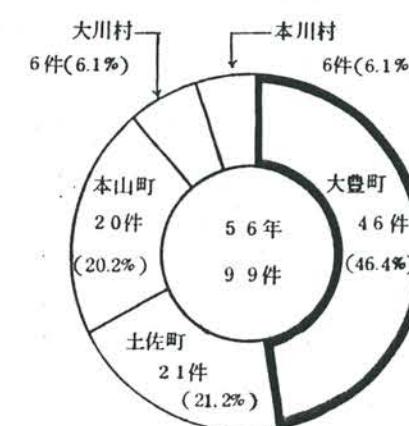
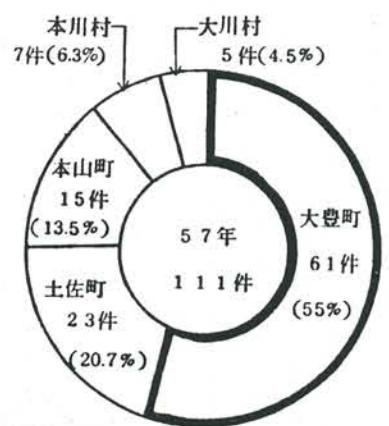
ましたが、本

さけばれていましたが、本

さけばれていませんか。



横北地区町村別56・57年度事故発生状況



子供とお年寄りを
事故から守ろう

秋の全国交通安全運動が実施されます。大豊町ではお年寄りや母親そして子供達の交通安全を重点に実施されます。

秋の全国交通安全運動

9月21日(水)～9月30日(金) [10日間]

みんなですすめる交通安全。



母の会々長からメッセージを受ける三浦収入役(役場前で)

交通事故による死者数は、昨年、全国で、六年ぶりに九千人を超えていました。今年に入ても、依然として増加の傾向にあります。大豊町での昭和五十六年の発生件数が四十六件死者が三名、傷者六十二名でした。昭和五十七年には発生件数六十一件、死者四名、傷者九十六名と増加しており、死者四名の内二名は幼児のいたましい事故でした。こうした現実を踏まえ、特に保育園児の交通安全週間に各保健所で、本山警察署の係の方の腹話術を使つた人形で楽しい交通安全教室が開かれ、又、大杉の検問所前で実際に国道に出で横断歩道の渡り方などを勉強しました。

キャラバン隊で安全意識の高揚

キャンペーンに母の会と保育園児が参加。農工センターでお年寄りの交通安全教室。検問所横広場で「母親の自転車教室」実施。

九月七日、全国交通安全の会の主催による、全国キャラバン隊が大豊町を通過するため、大豊町の幼稚園全員ひよこクラブの会員、や交通安全母の会の会員、各地区の保育園児で、交通安全のキャラバン隊がくり広げられました。当日はキャラバン隊、引き継ぎのため、母の会の役員の方々が

十二時半、役場前に集合、

徳島県に向い、山城町で引

き継ぎ式の後、国道筋の各

ヤラバン隊が原の会と通

するため、大豊町の幼稚園交

通安全部会の会員、

や交通安全母の会の会員、

母の会と高知県交通安全母

の会の主催による、全国キ

ャンペーンが原の会と通

するため、大豊町の幼稚園交

通安全部会の会員、

や交通安全母の会の会員、

母の会と高知県交通安全母

の会の主催による、全国キ

ャンペーン

